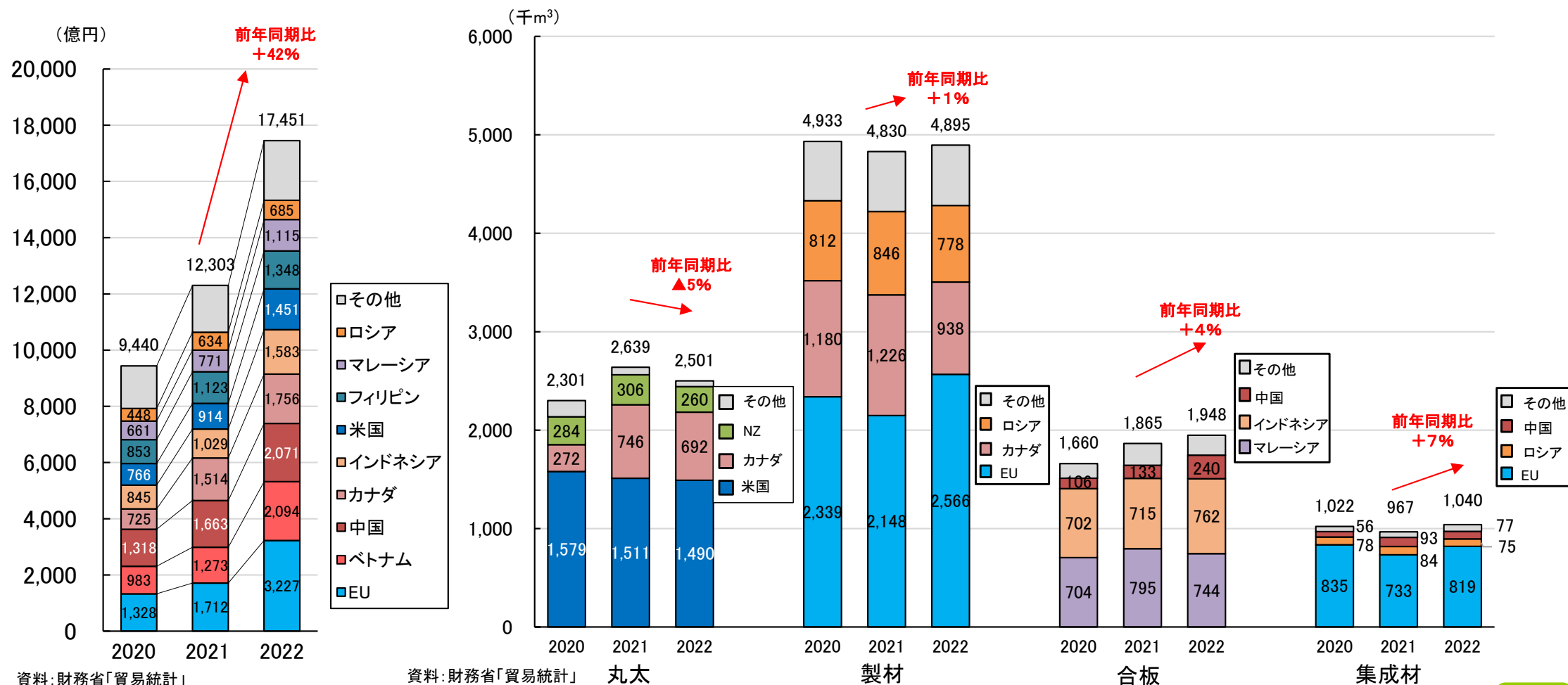


木材輸入の状況について (2022年12月実績)

令和5年1月
林野庁 木材貿易対策室

1. 2022年12月までの木材輸入実績(累計)

- 2022年1～12月の木材輸入額累計は、前年同期比+42%増の1兆7,451億円。
- 品目別の輸入量を見ると、丸太が前年同期比▲5%減、製材が同+1%増、合板が同+4%増、集成材が同+7%増。
- なお、2020年同期と比較すると、2022年1～12月の木材輸入額累計は同+85%増。品目別輸入量では、丸太が同+9%増、製材が同▲1%減、合板が同+17%増、集成材が同+2%増。



(注) 2022年2月のエクアドルからの丸太(4403.99-990号)輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。

品目別木材輸入量の推移
(2020～2022年における1～12月累計)

2. 製材・集成材の月別輸入量

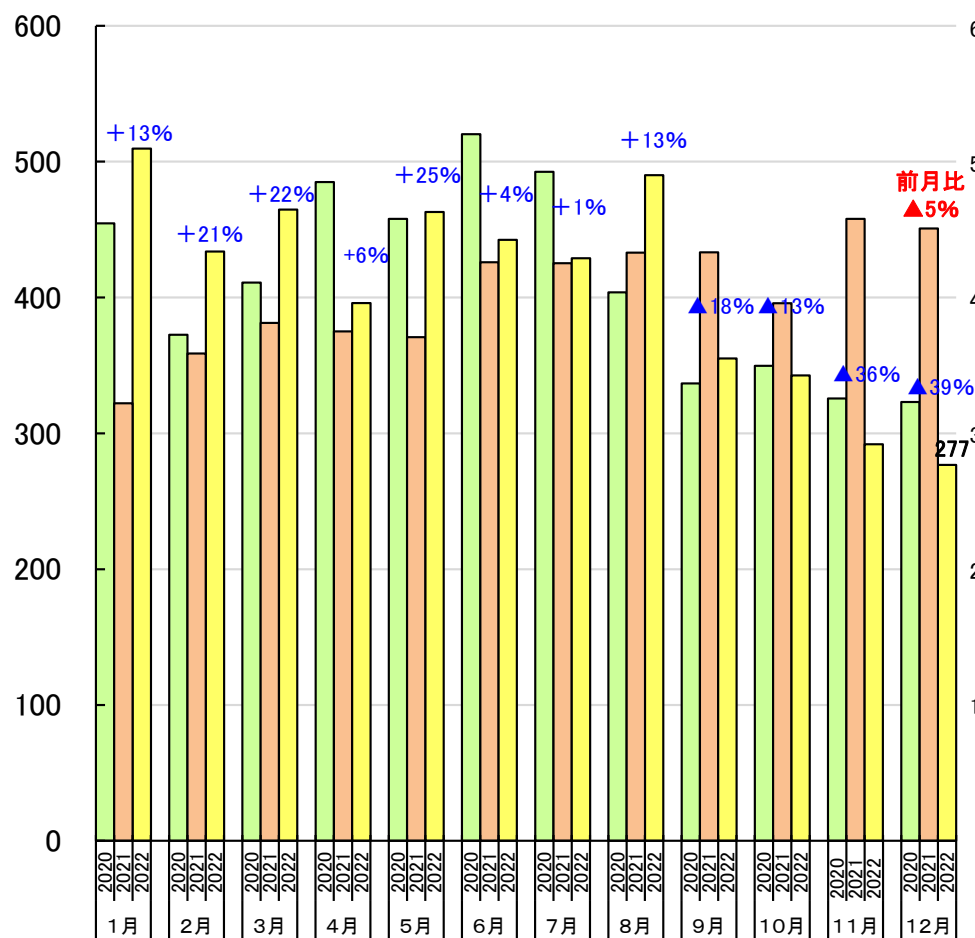
- 2022年12月の製材輸入量は、前月比▲5%減の28万m³(前年同月比▲39%減、2020年同月比▲14%減)。1～12月の累計は、前年同期比+1%増(2020年同期比▲1%減)の490万m³。
- 同月の集成材輸入量は、前月比+8%増の6万m³(前年同月比▲31%減、2020年同月比▲13%減)。1～12月の累計は、前年同期比+7%増(2020年同期比+2%増)の104万m³。

(千m³)

(千m³)

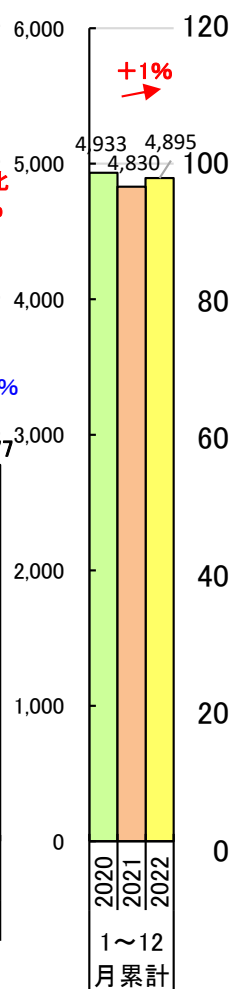
(千m³)

(千m³)

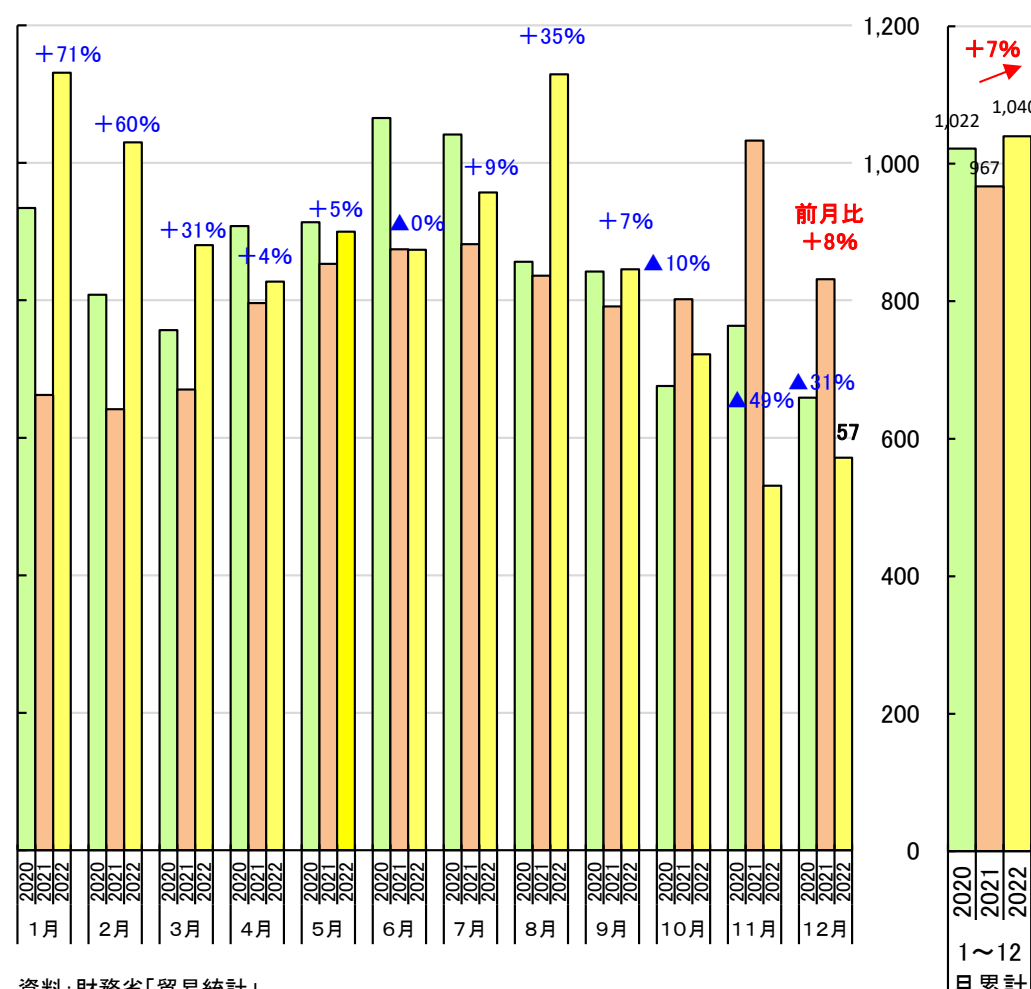


資料:財務省「貿易統計」

製材の輸入量



1～12月累計

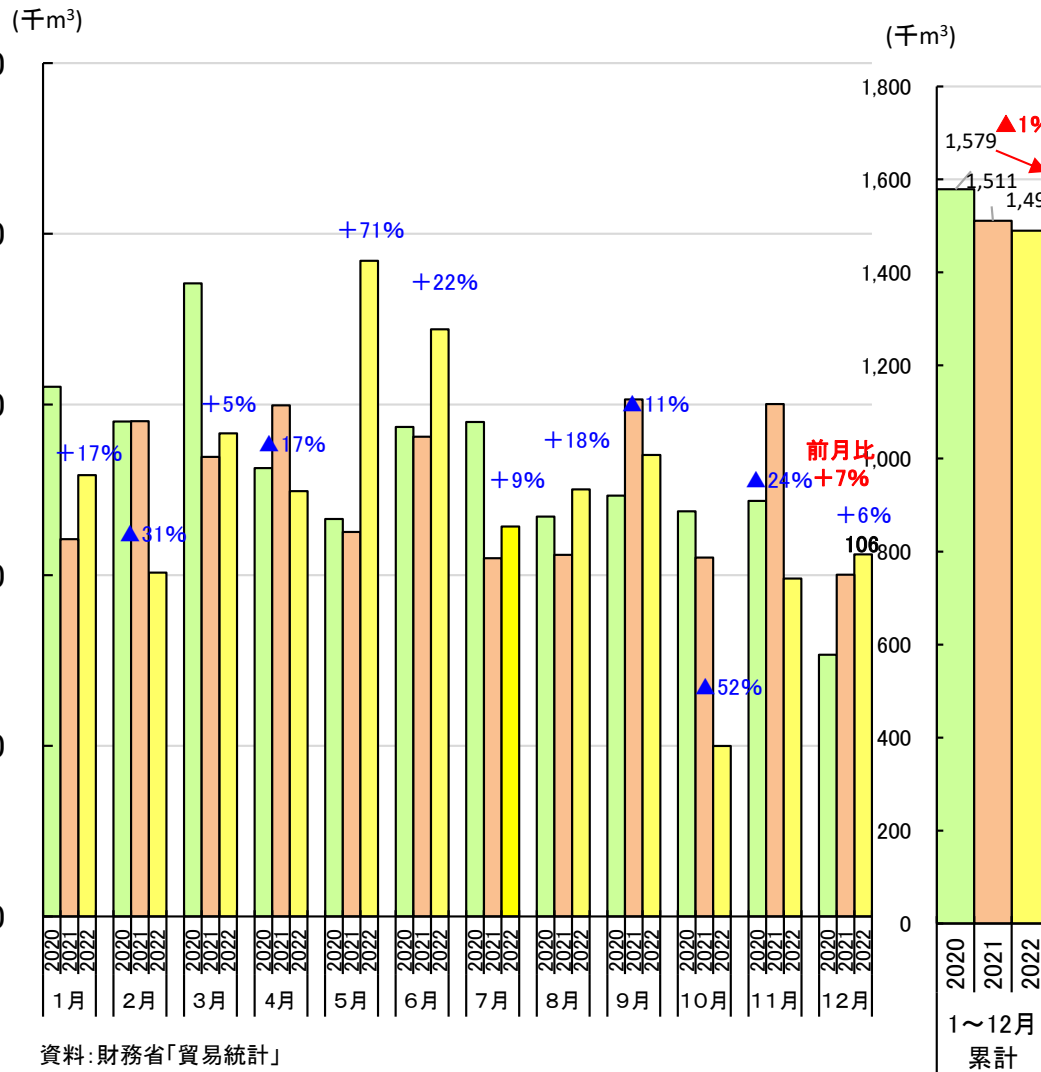


資料:財務省「貿易統計」

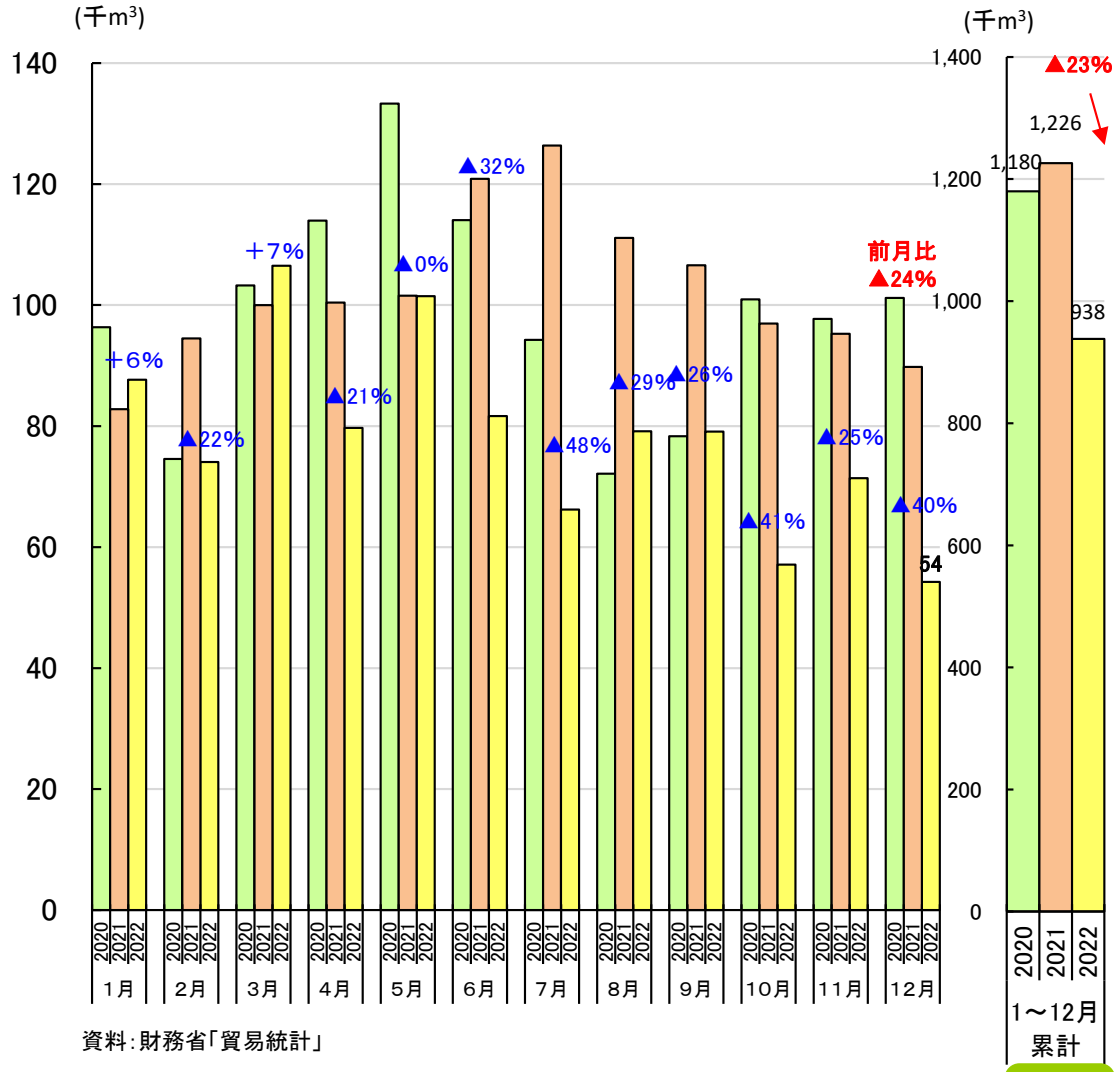
集成材の輸入量

3. 北米からの月別輸入量

- 2022年12月の米国からの丸太輸入量は、前月比**+7%増**の11万m³（前年同月比+6%増、2020年同月比+38%増）。1～12月の累計は、前年同期比**▲1%減**（2020年同期比**▲6%減**）の149万m³。
- 同月のカナダからの製材輸入量は、前月比**▲24%減**の5万m³（前年同月比**▲40%減**、2020年同月比**▲46%減**）。1～12月の累計は、前年同期比**▲23%減**（2020年同期比**▲20%減**）の938万m³。



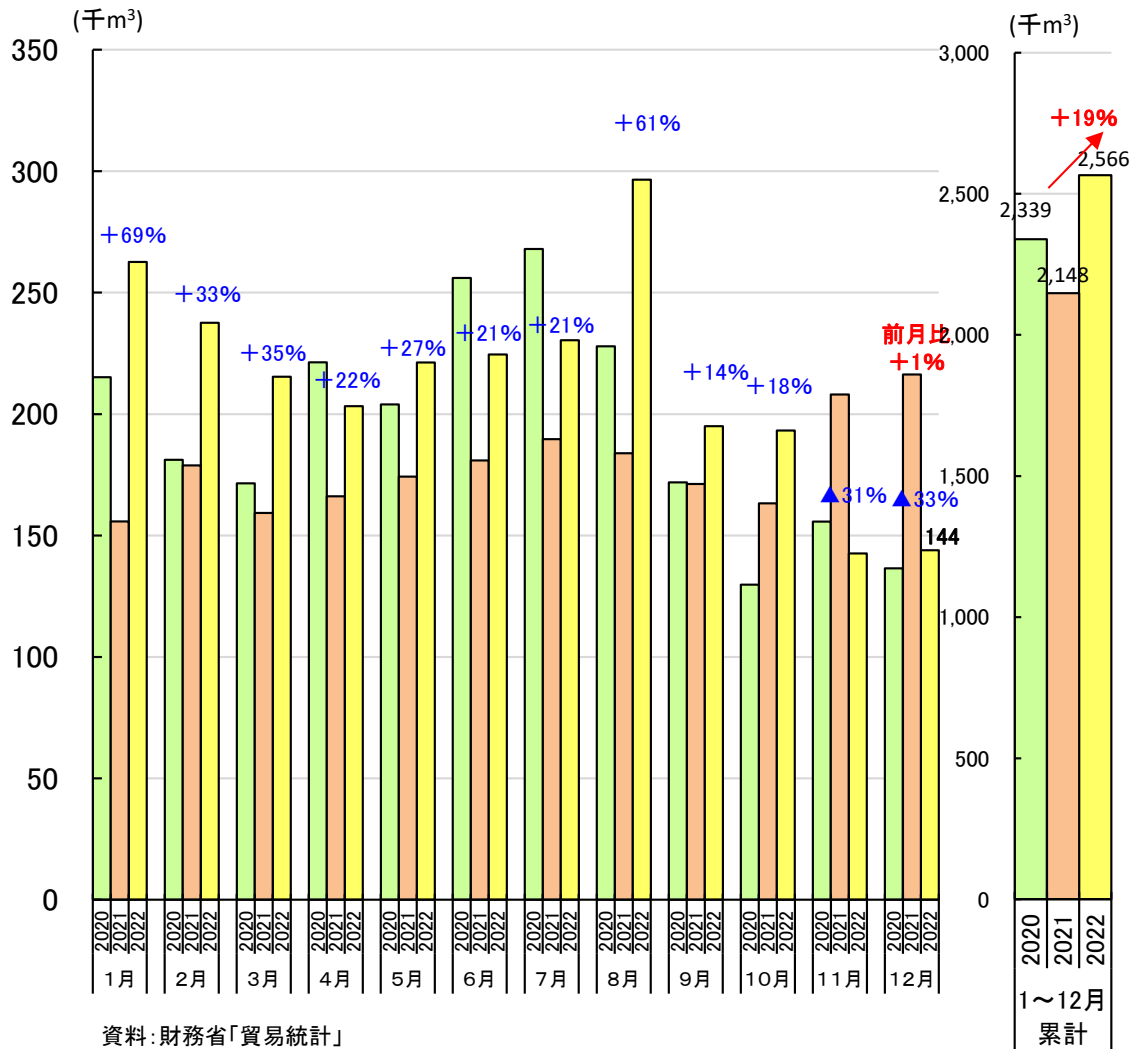
米国からの丸太輸入量



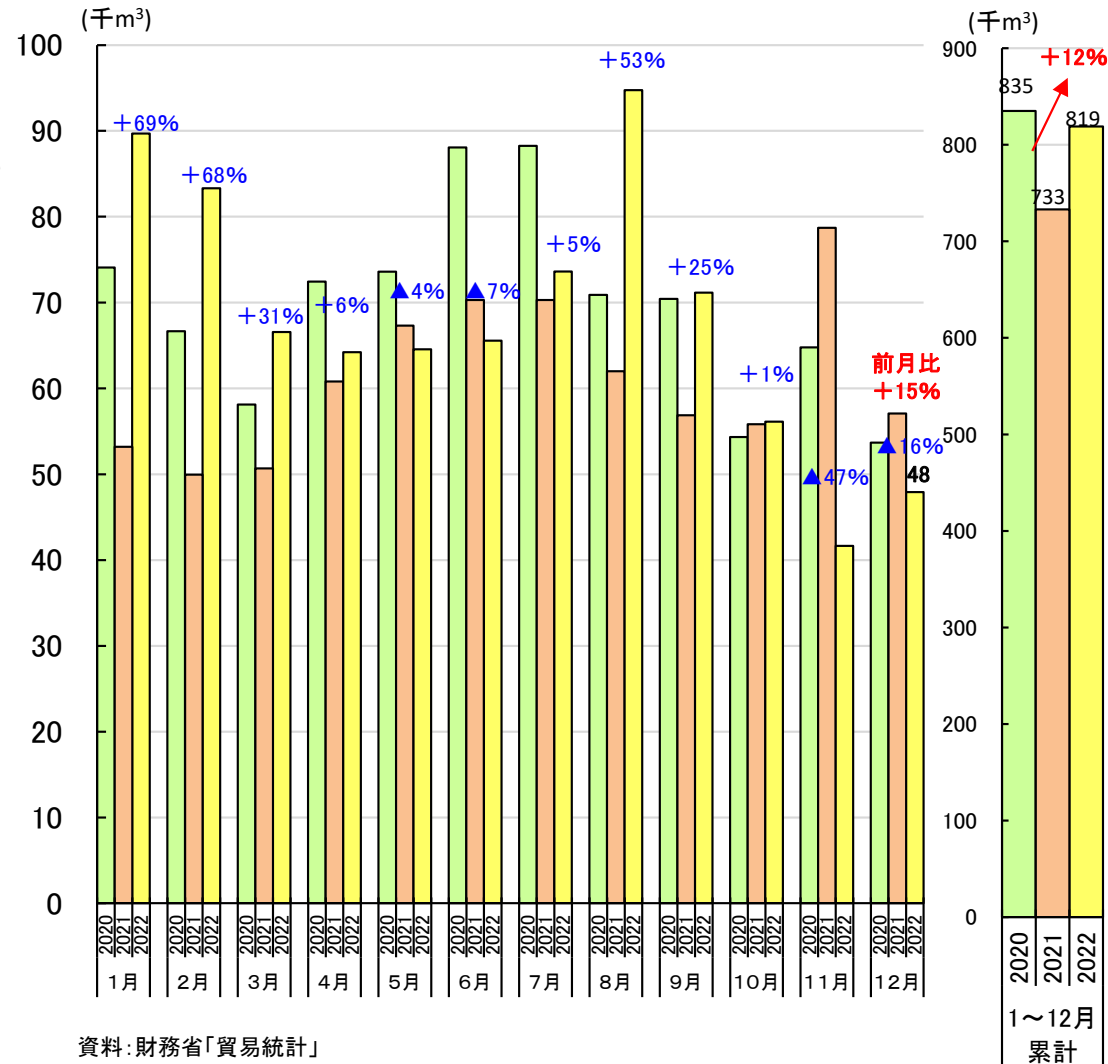
カナダからの製材輸入量

4. 欧州からの月別輸入量

- 2022年12月のEUからの製材輸入量は、前月比+1%増の14万m³(前年同月比▲33%減、2020年同月比+5%増)。1～12月の累計は、前年同期比+19%増(2020年同期比+10%増)の257万m³。
- 同月のEUからの集成材輸入量は、前月比+15%増の5万m³(前年同月比▲16%減、2020年同月比▲11%減)。1～12月の累計は、前年同期比+12%増(2020年同期比▲2%減)の82万m³。



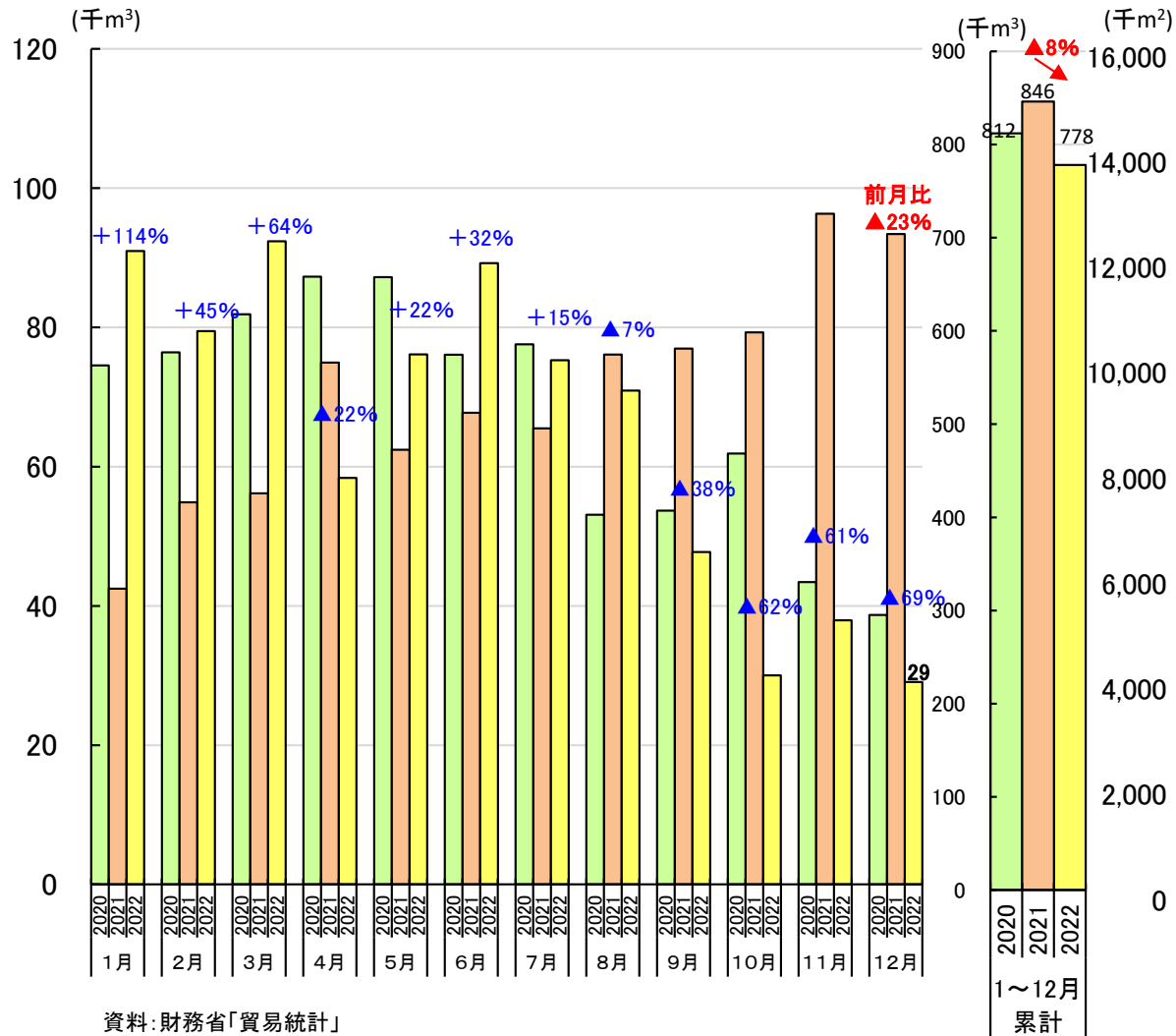
EUからの製材輸入量



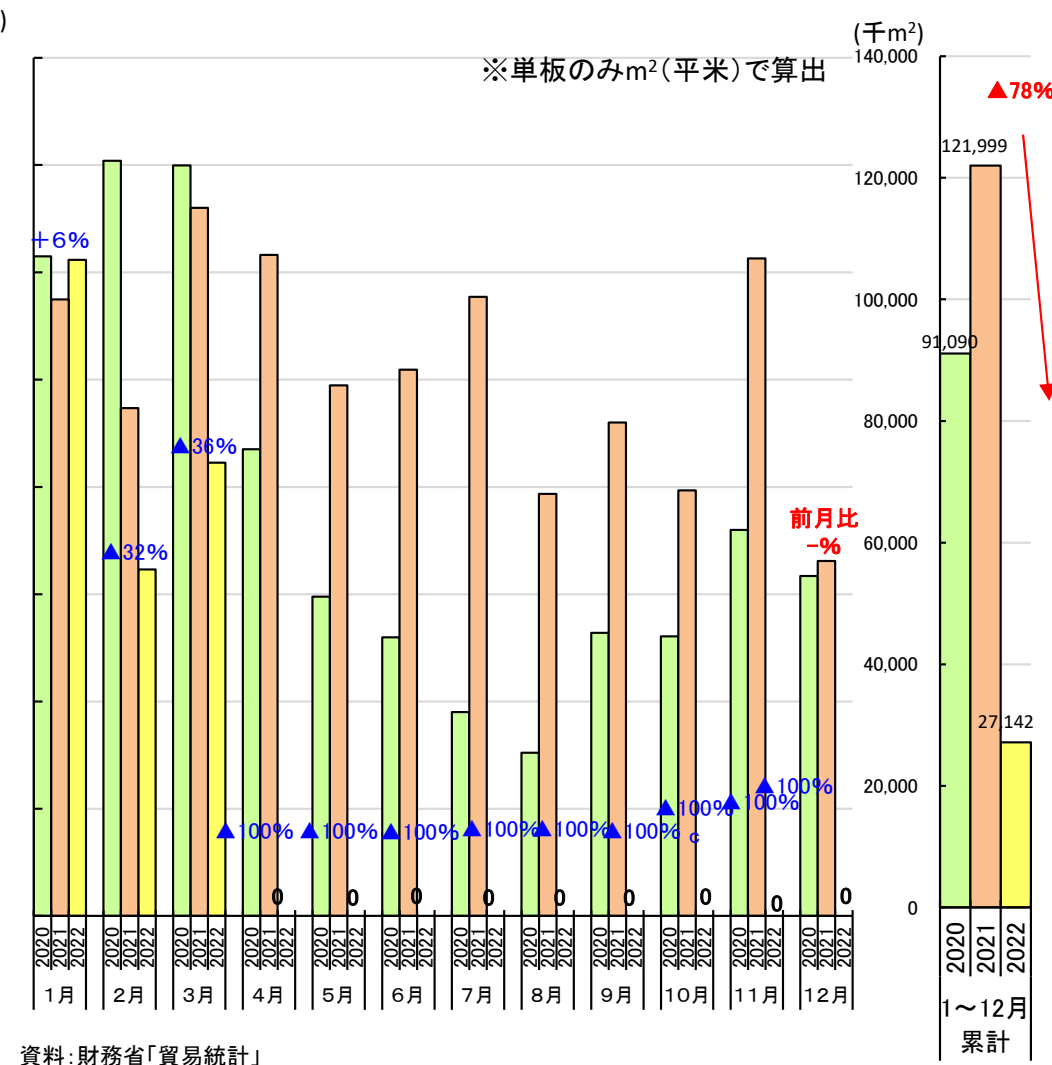
EUからの集成材輸入量

5. ロシアからの月別輸入量

- 2022年12月のロシアからの製材輸入量は、前月比▲23%減の3万m³(前年同月比▲69%減、2020年同月比▲25%減)。1～12月の累計は、前年同期比▲8%減(2020年同月比▲4%減)の78万m³。
- 同月のロシアからの単板輸入量は、輸入実績なし(前年同月比▲100%減、2020年同月比▲100%減)。1～12月の累計は、前年同期比▲78%減(2020年同月比▲70%減)の2,714万m²。



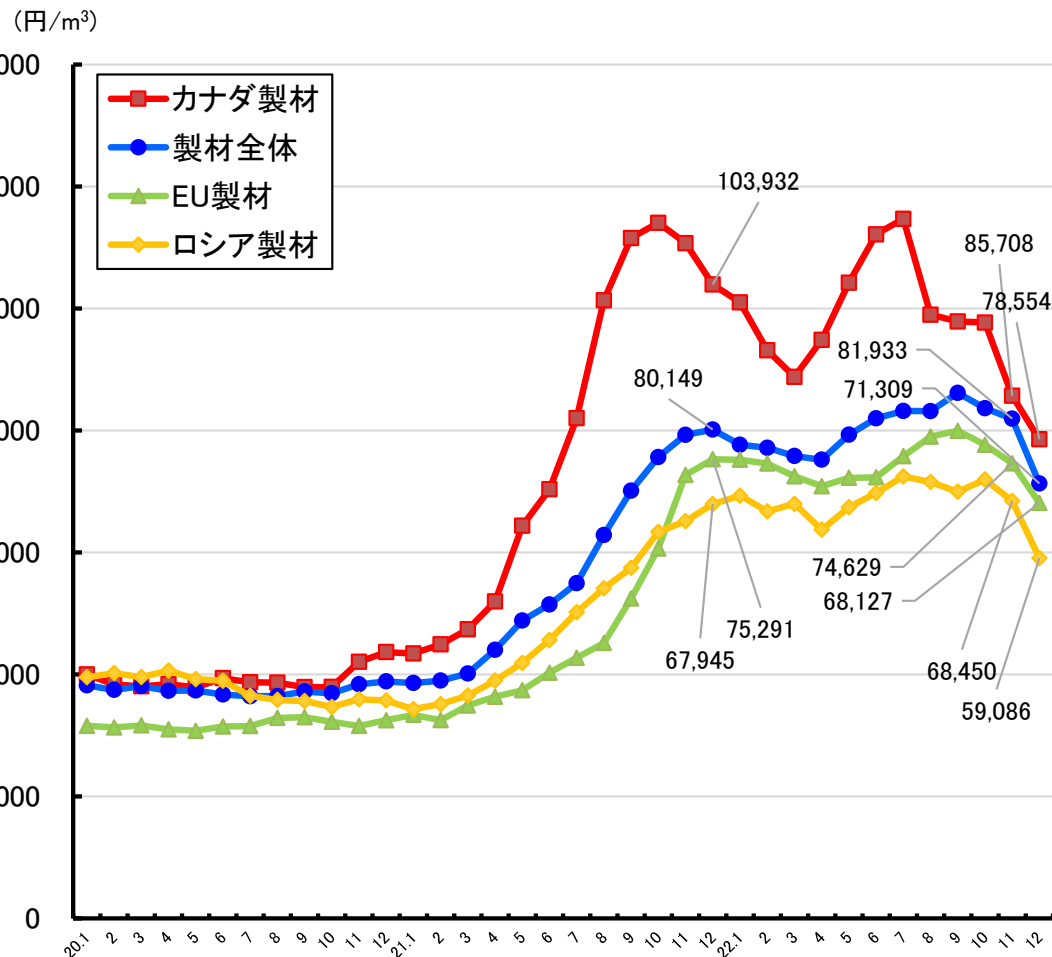
ロシアからの製材輸入量



ロシアからの単板輸入量

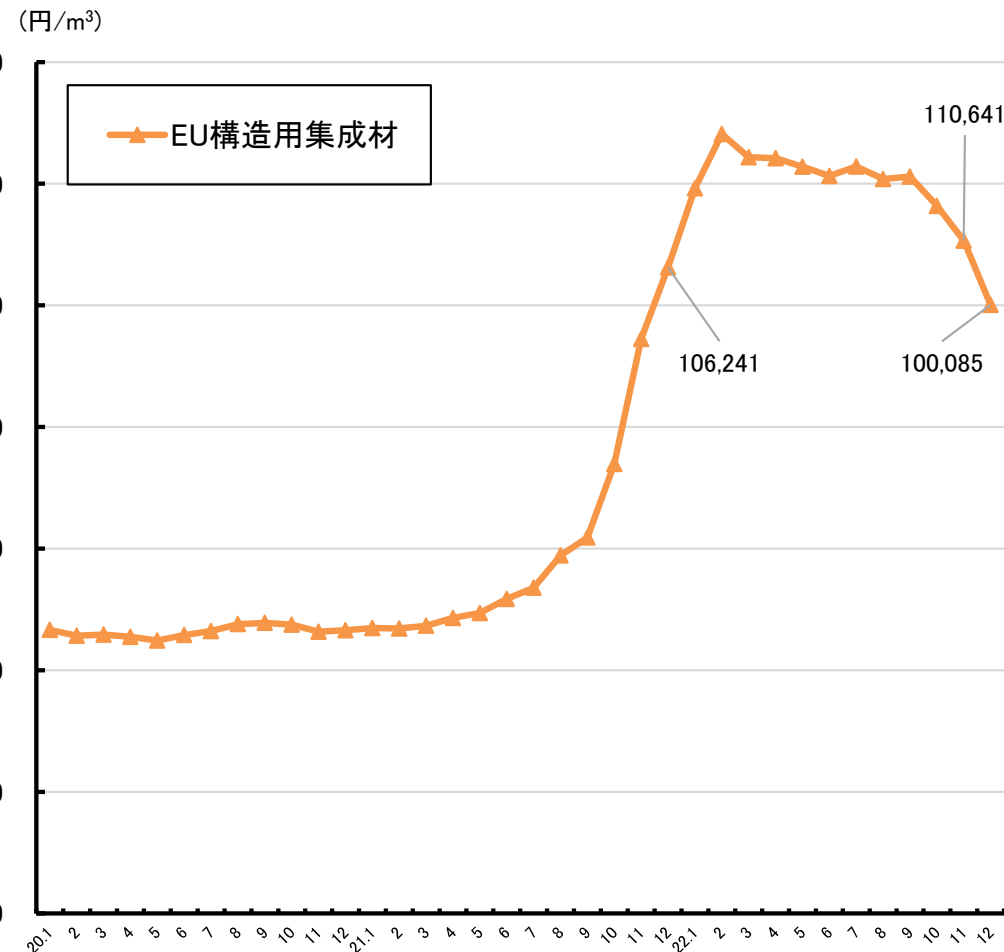
6. 製材・構造用集成材の輸入平均単価

- 2022年12月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比▲13%減の71,309円/m³（前年同月比▲11%減）。うち、カナダの製材は、前月比▲8%減の78,554円/m³（前年同月比▲24%減）、EUの製材は、前月比▲9%減の68,127円/m³（前年同月比▲10%減）、ロシアの製材は、前月比▲14%減の59,086円/m³（前年同月比▲13%減）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比▲10%減の100,085円/m³（前年同月比+6%減）。



注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

製材の輸入平均単価



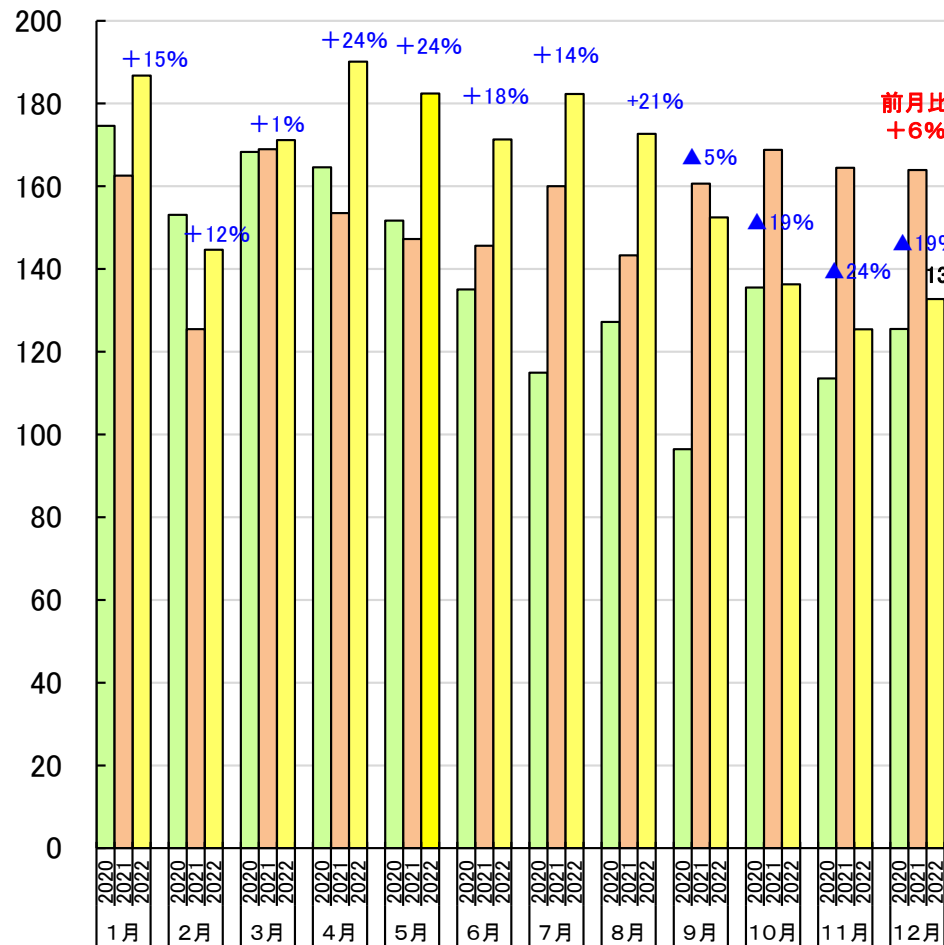
注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

構造用集成材の輸入平均単価

7. 合板の月別輸入量と価格

- 2022年12月の合板輸入量は、前月比+6%増の13万m³(前年同月比▲19%減、2020年同月比+6%増)。1～12月の累計は、前年同期比+4%増(2020年同期比+17%増)の195万m³。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比▲12%減の99,369円/m³(前年同月比+28%増)。

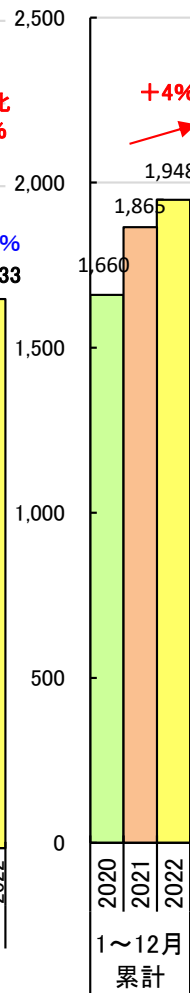
(千m³)



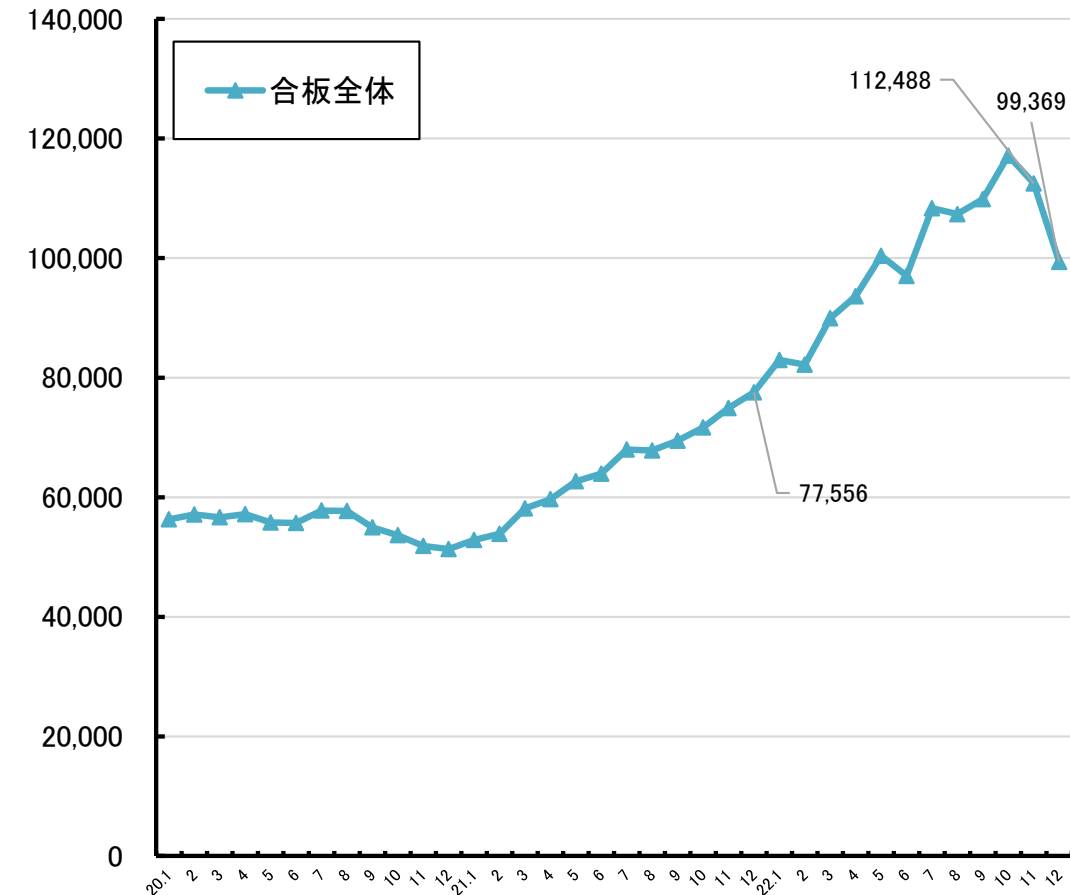
資料:財務省「貿易統計」

合板の輸入量

(千m³)



(円/m³)

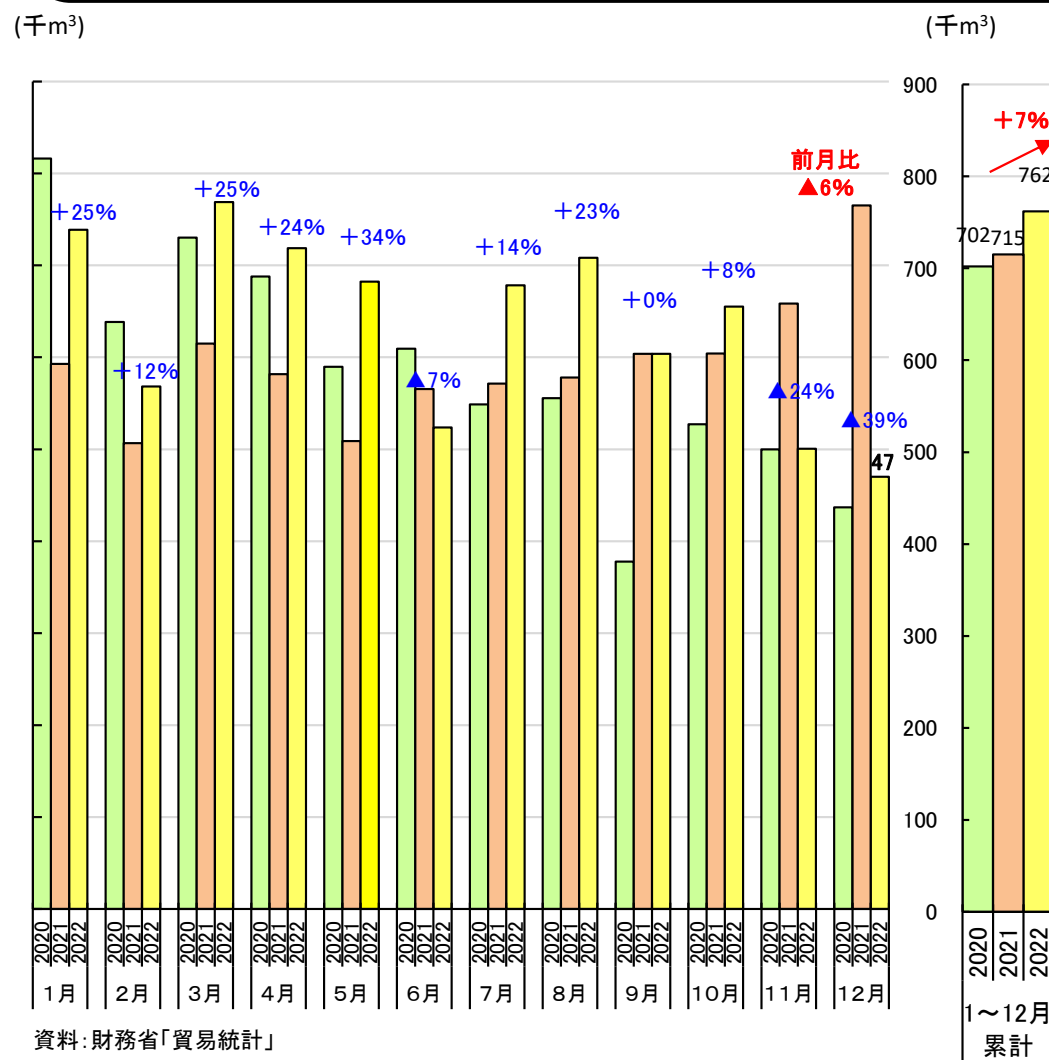


注:輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

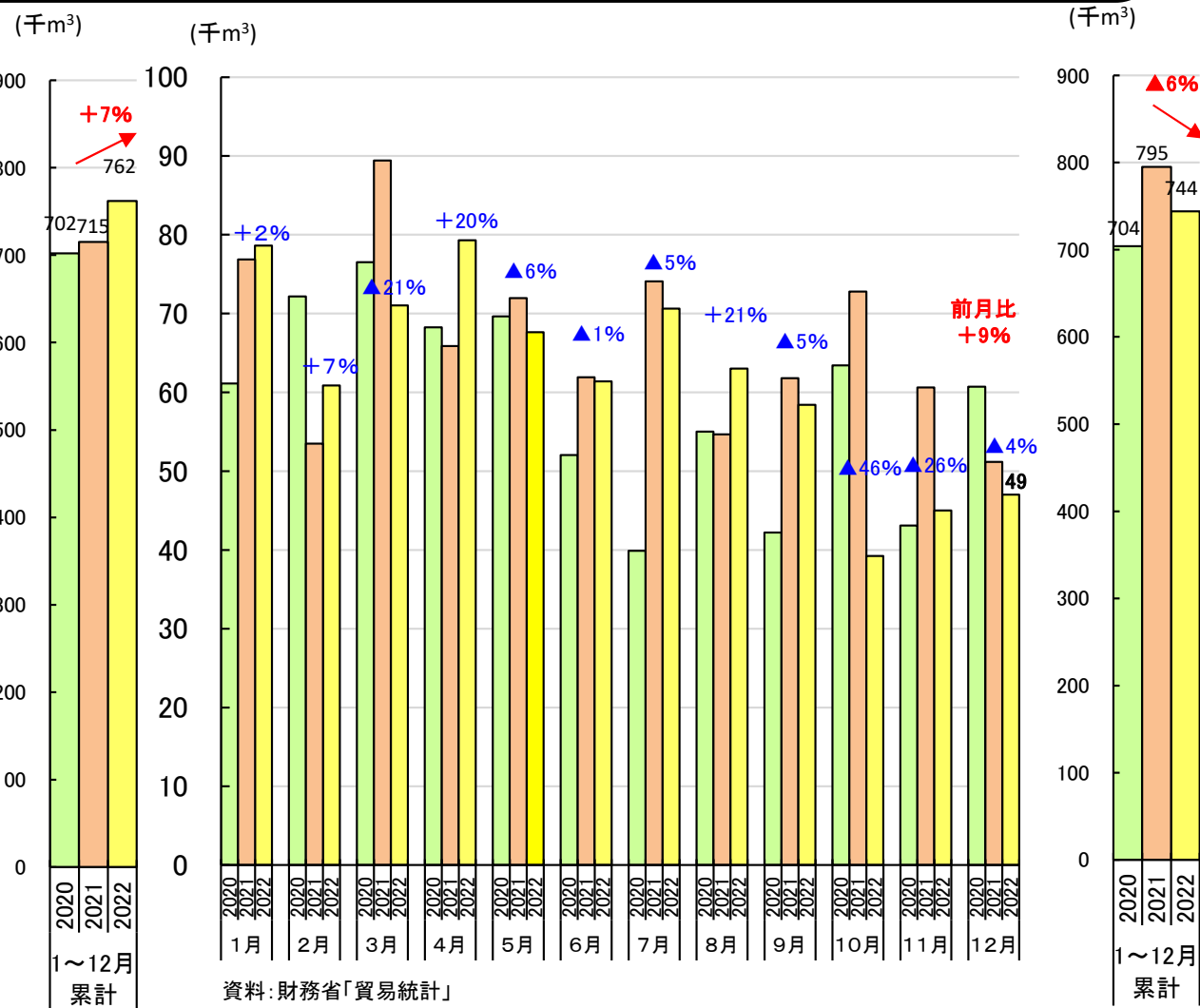
合板の輸入平均単価

8. 東南アジアからの合板の月別輸入量

- 2022年12月のインドネシアからの合板輸入量は、前月比▲6%減の5万m³（前年同月比▲39%減、2020年同月比+8%増）。1～12月の累計は、前年同期比+7%増（2020年同期比+9%増）の76万m³。
- 同月のマレーシアからの合板輸入量は、前月比+9%増の5万m³（前年同月比▲4%減、2020年同月比▲19%減）。1～12月の累計は、前年同期比▲6%減（2020年同期比+6%増）の74万m³。



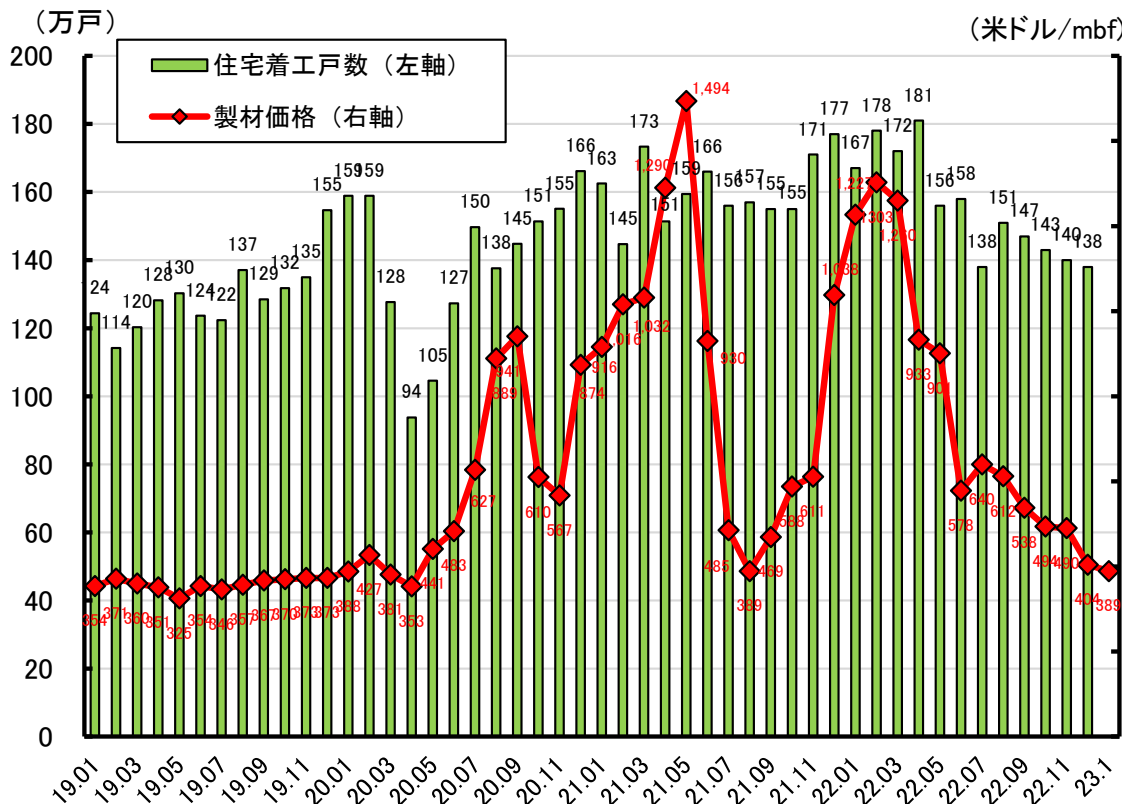
インドネシアからの合板の輸入量



マレーシアからの合板の輸入量

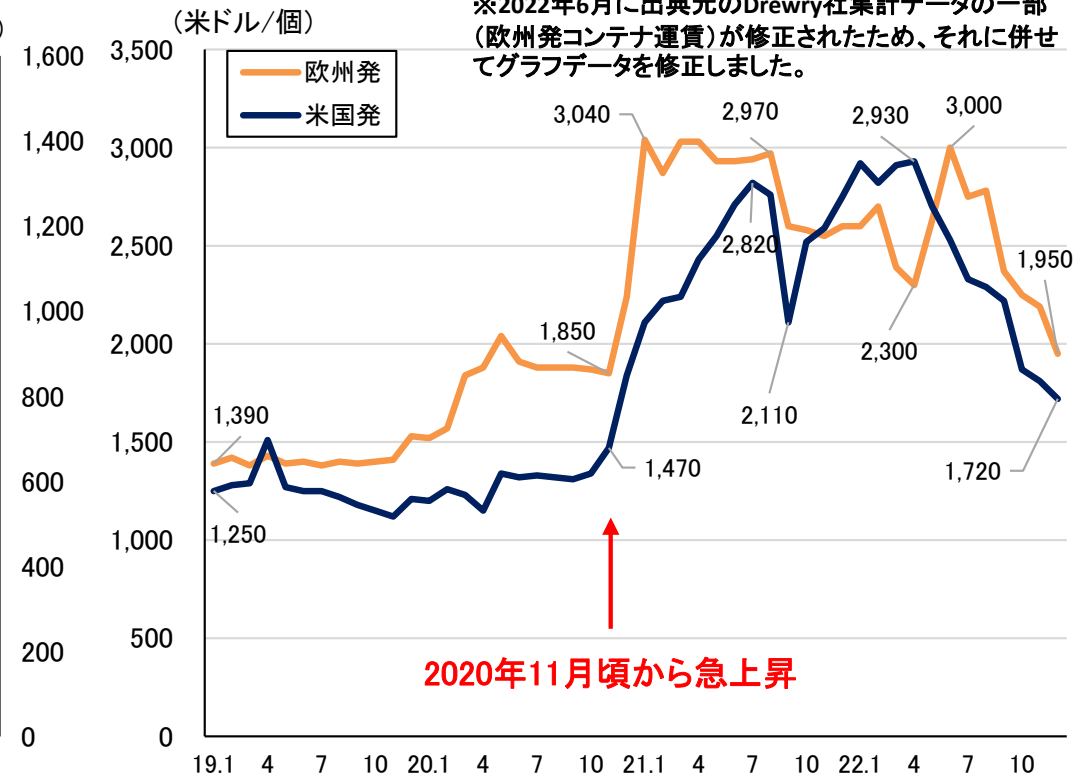
(参考1)米国における木材価格の動向等

- 米国の住宅着工戸数(戸建て計)は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落した。その後、**コロナ禍による在宅需要の増加と住宅ローンの低金利により**、2020年5月から増加傾向が続き、2022年4月には181万戸(年率換算)を記録。2022年5月からは、**住宅ローン金利が急騰したことにより**、下落傾向が続き、2022年12月は138万戸となった。
- 北米の木材価格は、2020年夏から急上昇。同秋に一旦下がったものの同冬から再び急上昇し、2021年5月には1,494ドル/mbfを記録。以後急落したが、同年9月以降再上昇し、2022年2月には1,303ドル/mbfを記録。**その後再度下落し、2022年12月には389ドル/mbf(前月比▲4%減)となった。**
- 世界的なコンテナ不足により、海上輸送運賃が急上昇。日本向けコンテナ運賃は、2020年11月頃から急上昇し、その後は欧州発、米国発ともに高値を維持していたが、**2022年7月以降は下落傾向が続いている。**



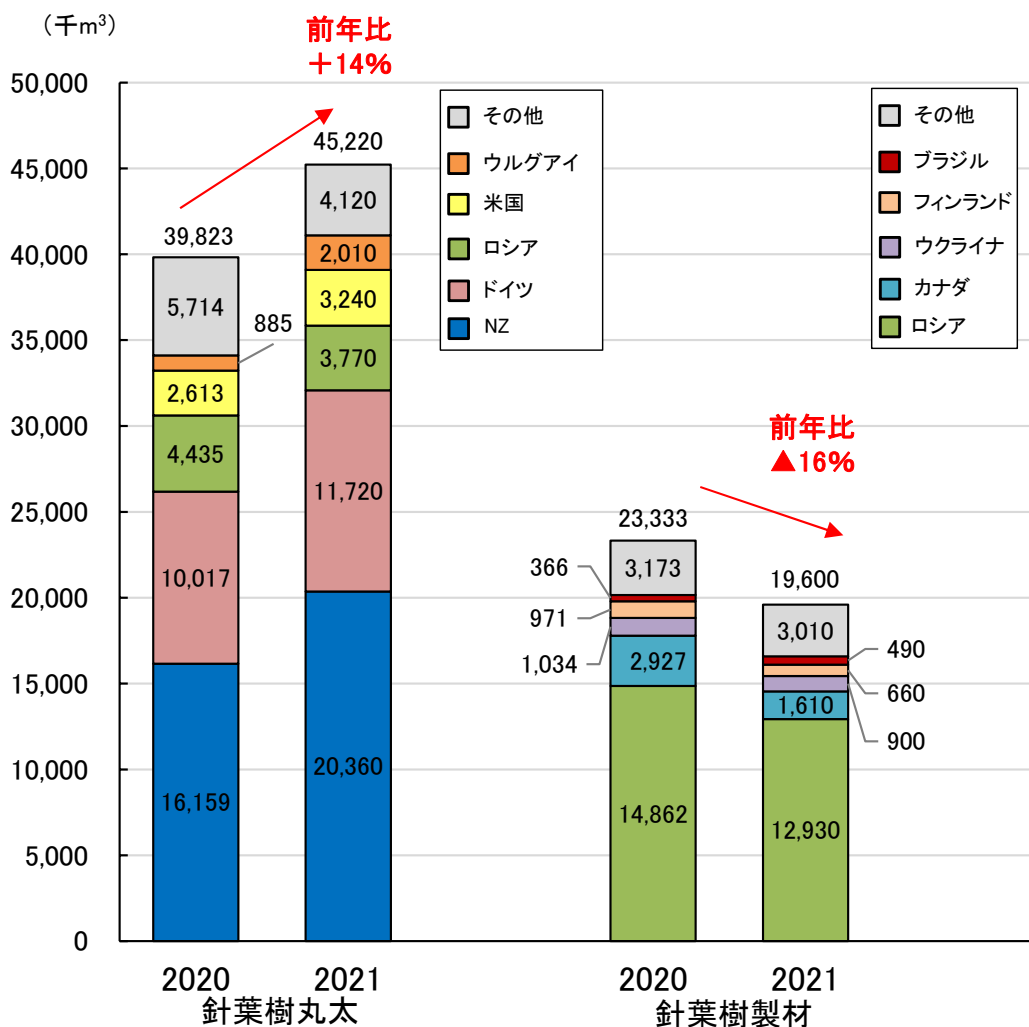
資料: (住宅着工戸数) 米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)
(製材価格) Random Lengths「Framing Lumber Composite Price」(月末価格、2022年6月以降は月中価格)

米国における住宅着工戸数と製材価格の推移



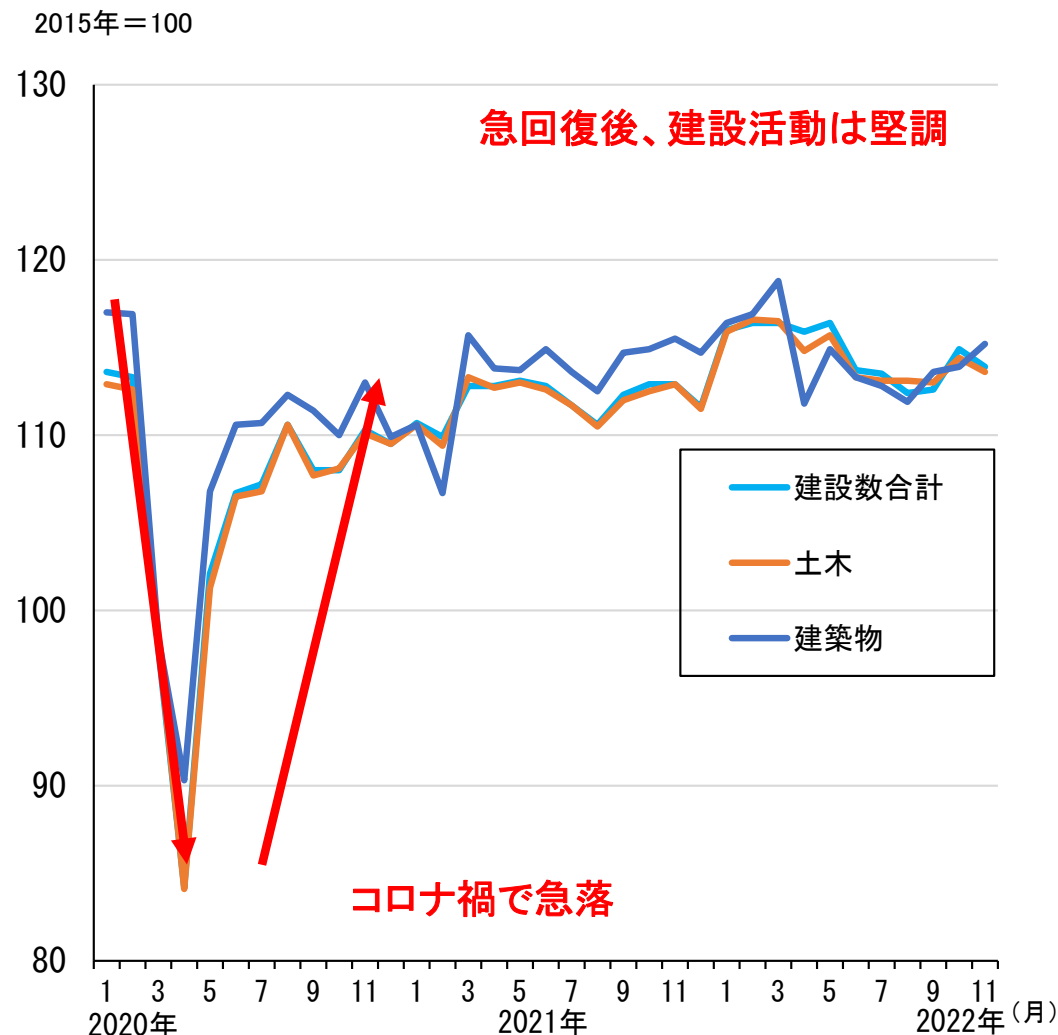
(参考2) 欧州・中国における木材需要の動向

- 中国では、木材需要が継続して増加。2021年の針葉樹丸太輸入量は、前年同期比+14%増の4,522万m³。一方、針葉樹製材輸入量は、前年同期比▲16%減の1,960万m³。木材輸入の形態が製材から丸太へシフト。
- EUでは、コロナ禍により、一昨年春に建設活動が急激に低下したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。



資料: ITTO (Tropical Timber Market Report, Vol.26 (3) (5))
※R4.5 針葉樹丸太データを修正

中国の木材輸入量
(2020年、2021年)



資料: Eurostat (Production in construction - monthly data)

EUにおける建設活動水準(2015年比)